

国内物流分科会の今後の進め方について

資料-1

■ 検討方針

分科会	座長	テーマ(案)
国内物流 【RORO船定期航路の就航】	鳥取大学工学部 社会システム工学科 松見 吉晴 教授	1.国内RORO船の航路誘致(○物流基礎調査や試験輸送 ○運行船舶の確保) 2.他港との連携(○苫小牧・新潟・博多・北九州港等との協力体制確立) 3.利用促進(○ベースカーゴの掘り起しとポートセールス体制強化 ○料金設定 ○行政支援) 4.陸上輸送部分のシステムづくり(○地元フォワーダー(※)の業務拡充、誘致 ○ヘッド・シャーシ確保) <small>※)荷主と運送事業者との仲介業務で、貨物輸送にかかる各種手続きを行う利用貨物運送事業者</small>
国際物流	鳥取大学地域学部 地域政策学科 馬場 芳 准教授	1.国際貨物のマーケティング 2.国内、国際貨物の連結
物流・取引環境の改善	鳥根大学法文学部 法経学科 渡邊 英俊 准教授	1.ビジネスマッチング(これまで各機関が行ってきたビジネスマッチングの課題抽出と方策検討) 2.コールドチェーン構築など

■ 今年度のスケジュール

分科会	8月 ~ 3月	方向性
物流基礎調査 (国交省委託)		
国内物流		日本海側国内海上輸送のミッシングリンクを解消し、境港の圏域及び中国地方の物流の効率化を実現
国際物流		境港国際コンテナ航路・国際定期貨客船等の利用促進及び国内物流・国際物流の連結
物流・取引環境の改善		物流サービス・輸送システムの改善及びビジネスマッチングの促進

■ 2020年までのロードマップ

分科会	2015~2017年	2018~2019年	2020年
国内物流	<ul style="list-style-type: none"> ・複数船社による試験輸送 ・九州も含めた航路誘致等、複数の可能性の模索 ・国際フェリー、国際RORO船との連結 	準定期化	定期便就航